

まえがき

整理収納Ⅱ物を捨てる

まだそう思っている方は多いと思いますが、決してそうではありません。

整理収納を行ううえで大切なのは「自分」。自分自身がどうしたいのかが一番大切です。

自分が一番心地いいもの。

自分が自分でいられる空間。

自分が自分を好きでいられるように。

そんなおうちをつくりあげることが整理収納の先にあるものだと私は考えます。

その整理収納は誰のためですか？

モデルハウスのようにきれいに整理収納されていても、家族がどこに何があるのかわからなかったり、勝手に物を捨てられたりして、家族関係がギスギスしているおうち。

少しぐらい散らかっていても、「片づけて」と言えば、家族の誰でも片づけることができるように整理収納がされているおうち。

私は迷わず、後者を選びます。

家族のためにお母さんが行う整理収納は家族が笑って楽しく過ごせる空間をつくりだすことだと思います。

整理収納のお仕事を始めて、考えが変わってきました。整理収納は物を捨てて、整理して、きちんと物を収納していく。整えば、それでいいというわけではないと気がつきました。

整理収納はそこに住む人が心地よく生きていくためのひとつの手段でしかないということ。

どれだけおうちがきれいに整っていたって、家族がくつろげる空間でなくては意味がありません。少しぐらい散らかっていても家族が笑って過ごせる空間を演出することのほうが本来の整理収納の意味があるのではないのでしょうか。

とはいえ、やはりおうちが散らかっているより、整っているほうが心は落ち着きます。おうちの中心はお母さん。お母さんが笑っているおうちこそそれだけで素敵なおうちだと思います。

毎日忙しいお母さんがいつも笑っていられるために整理収納をうまく利用してほしいと思います。

捨てるばかりが整理収納ではありません。気持ちの残っている物は置いておいても構いません。でも、思い出の品ばかりで今生活する空間がないのも考え物。バランスを取りながら、整理収納をしましょう。

迷いを減らす ↓ 時間をつくる

選択肢を少なくする。

専用の物を持たない。

整理収納にはいろいろな基本があります。どの基本を自分のおうちの整理収納に活かしていくのかはご自身で決めればいいと思います。

維持することが大切。維持できるのはすごいこと。

整理収納を習慣として生活に取り入れるところを毎日を楽しく過ごす基本だと考えます。

毎日ごはんを食べる、寝る。普通に過ごす毎日の行動の中に整理収納が溶け込んで、習慣となり、意識しなくても整理収納ができるようになれば、おのずとおうちは整っています。

できないことは無理してやらなくてもいい。大切なのは自分丈。

人と比べるのはとてもしんどいだけ。自分だけの自分丈を見つけることが整理収納を習慣化させる近道かもしれません。

一緒に整理収納をしておうちを整えても、また元に戻ってしまうことが多々あります。どうしたら、維持することができるのか。たどり着いた答えは「習慣にすること」でした。

一緒に整理収納をすることは一緒にすることに意味があります。どうして、そうしたの

か。自分はどうしたいのか。いつも、自分を中心に考えていくとリバウンドは減ると思います。

自分の「好き」について考えてみる。

この家事は好き。↓ 時間をかけてやるといい。

この家事は嫌い。↓ 時間短縮を考えるといい。

私もたくさん物を処分してきました。以前、友人にどうしてそんなに物を処分するのかと聞かれたときに私は「自分の能力以上に物を持っていると思うから」と答えました。

もともと私は整理整頓ができないタイプだったので、整理収納アドバイザーという資格に出会って、整理収納できるようになりました。そして、生活するのとても楽になりました。物がたくさんあっても、整理整頓できる人がうらやましいなと思ったこともあります。本来の自分はそう変われないもの。なら、自分が納得する方法でうちを過ごしやすい空間にするために物を減らすことを選んだのかもしれない。

整理収納を進めていくうえで、物を捨てることを強制はしません。でも、その物の存在意味と一緒に考えながら、処分する物、残しておく物を区別していきます。

迷ってもいいんです。迷いがなくなるときに答えは出ます。

毎日の生活を自分丈で楽しみながら、家族と一緒に整理収納を身につけていく。そういうおうちづくりのお手伝いできたらいいなと願っています。

自分1人で整理収納、整頓、片づけが完璧にできる人はそう多くないと思います。得意不得意もあります。

わが家は友達が来ても、ゆっくりくつろいでもらえるような空間づくりをしています。

物を捨てるだけの整理収納ではなく、自分や家族のための整理収納を考えてみませんか？